

2023年度事業報告

特定非営利活動法人 鎌倉ユネスコ協会

【基本方針】

2022年度に掲げた基本方針が解消されていない現実を踏まえ、以下の内容を2023年度事業計画の基本方針に据えた。

共生社会の基本原則である「安心安全、多様性、個人の尊厳確保と人権尊重」、そしてなにより平和な暮らしの確保と継続の実現に向け、微力ながら汗をかき邁進する一年とする。そして国益の行き過ぎた追求が、『心に築いた平和の砦』をいとも簡単に打ち捨てられることを防ぎ、この防波の波動を遍く伝える運動を、志を一にする広範な諸活動団体と連携し展開する。

講座「世界平和の実相と課題、その処方箋は」

→ 6 SDGs委員会(2)青年部の活動 参照

「人権尊重の視点から難民支援の現状と課題」

→ 3 国際交流委員会(3)国際理解「難民問題を考える勉強会」参照

【具体的活動】

1 識字・世界遺産保全支援委員会

○バザー開催の収益と支援先

(1) 5月13日 大仏献茶会バザー参加:20名 売り上げ 114,520円

(2) 11月5日 際交流フェスティバルバザー参加:32名 売り上げ 112,860円

(3) 深沢倉庫及び久保宅ガレージ前バザー開催 毎月第二日曜日

第28回バザー 4月9日 参加人数:12名 109,970円

第29回バザー 5月14日 参加人数:12名 46,566円

第30回バザー 6月11日 参加人数:8名 55,900円

第31回バザー 7月9日 参加人数:13名 55,400円

第32回バザー 8月13日 参加人数:11名 52,925円

第33回バザー 9月10日 参加人数:13名 82,550円

第34回バザー 10月8日 参加人数:16名 42,740円

第35回バザー 11月12日 参加人数:15名 54,200円

第36回バザー 12月10日 参加人数:12名 146,635円

第37回バザー 1月14日 参加人数:16名 165,661円

第38回バザー 2月11日 参加人数:10名 140,400円

第39回バザー 3月10日 参加人数:12名 117,710円

(1)(2)(3) 参加者人数総計202名 計1,298,037円

(4) 支援先について

- ア 緊急支援…モロッコ地震 10 万円、能登半島地震 (2 種) 16 万円+30 万円
 - イ 識字支援…ブラジルのセラ・ダ・カピヴァラ 12 万円、チムチャイの会 10 万円
 - ウ 困窮者支援・難民支援
…報徳食品 25 万円、ふらっとカフェ 5 万円、アルペなんみんセンター 5 万円
 - エ 日本ユネスコ協会連盟 世界寺子屋運動 13 万円
 - オ 倉庫家賃 1 年分 12 万円
- ア～オ支援合計 1,380,000 円

○書き損じ葉書の集計

会員・一般・学校・団体等の協力を得て集めた未使用の葉書を切手に交換。
そのほかに切手、プリペイカード等をアジア識字支援のために日本ユネスコ協会連盟へ寄託。 計 417,088 円

○世界遺産保全支援 今年度は支援なし。

2 青少年委員会

「絵で伝えよう！わたしの町のたからもの」絵画展 2023

～いつまでも住み続けられる町であるために (SDGs)

6 月に各学校へ説明と依頼。9 月～11 月応募受付。12 月 2 日に審査会。

応募作品：小学校 154 点、中学校 130 点の合計 284 点。

審査結果：鎌倉市長賞、鎌倉市教育委員会賞、日本ユネスコ協会連盟会長賞、
鎌倉ユネスコ協会会長賞と優秀賞 8 点を選考した。

展示：小学校 98 点、中学校 61 点の合計 159 点の作品を鎌倉生涯学習センターギャラリー 12/23～25 の 3 日間展示。来場者数 255 名。

表彰式：同会場にて 12/24、市長、教育長臨席のもとに開催。

なお 12/26～1/4 の 10 日間、入賞作品 12 点を鎌倉駅地下道ギャラリー展示。

※SDGs の目標をデザインした当協会のクリアファイルを増刷して、応募者全員と参加した全校に参加賞として贈呈。

3 国際交流委員会

(1) 国際理解：食の文化を通して 鎌倉市福祉センター調理室

前半料理教室 7 月 14 日 (金) エクアドル料理 講師エクアドル公使 25 名参加

後半料理教室 11 月 16 日 (木) モロッコ料理 講師モロッコ大使付きシェフ 25 名参加

(2) 国際理解：ユネスコ憲章 平和の鐘を鳴らそう

1 月 13 日 (土) 雪ノ下教会レベックホール。山本達也清泉女子大学地球市民学科教授、清泉女子大学 (同科在籍 1 年生 2 名、2 年生 2 名、3 年生 2 名)、36 名参加 (ユース 6 名含む)

(3) 国際理解：「難民問題を考える勉強会」

3 月 9 日 (土) 雪ノ下カトリック教会レベックホール

漆原比呂志 JLMM 事務局長（アルペなんみんセンター地域コーディネーター）
フォンフォンさん（アフリカ・カメルーン出身）、ミミさん（ミャンマー出身）
シスター高田名誉教授（元清泉女子大学英文学科）、
アレックスさん（早稲田大学博士課程在籍 アフリカ・エリトリア出身）、
新開さん（聖心女子大学国際交流学科2年、なんみん支援団体 SHRET 代表）、
林さん（聖心女子大学国際交流学科2年、なんみん支援団体 SHRET 委員）、
宇野勇氣さん（山口県美祢市教育委員会事務局教育創生監 元鎌倉ユネスコユース代表）
40名参加（ユース含む）

4 科学・環境委員会

(1) 10月14日（土）スタディーツアー

神奈川の縄文文化を訪ねて 三殿台遺跡と神奈川県埋蔵文化センター見学

(2) SDGs みらい塾との合同活動：SDGs 委員会参照

5 コミュニケーション委員会

(1) 会報発行：119号7月21日、120号1月1日 各600部発行

(2) 会報を中心とするホームページの更新

6 SDGs 委員会

(1) SDGs みらい塾の開催

第5期 SDGs みらい塾は、新型コロナウイルス感染症にともなう行動規制が解除されたことから対面方式で開催することとし、大路ビルのカルチャースペース鎌倉A教室を会場に、7月15日（土）～8月19日（土）の期間に合計6回を開催した。定員は20名とし、対面方式への移行にともない、受講生から資料代1000円を徴収した。青年部会員および青年部への入会希望者は無料とした。有料の受講生は17名、無料扱いの受講生は7名で、最終日には全6回のうち4回以上を受講した11名に修了証を授与した。また、最終日の全体討論では、受講生を3グループに分け、4つのサブテーマについて「私たちのSDGs行動宣言」をとりまとめて発表した。

(2) 青年部の活動

2023年度日本ユネスコ協会連盟のSDGs活動助成を受けて実施した「平和と国際人権普及啓発事業」のユース討論会の企画運営を青年部が受け持つこととし、青年部の坂口心菜氏が中心となり、12月9日（土）に「ユネスコ平和ゼミナール：ヒューマンライツと共生社会」を開催した。ユース討論会には大学生7名が参加し、ファストファッションとジェンダー平等の問題について活発な議論を行った。

(3) 科学・環境委員会との合同事業

2023年10月19日（木）に由比ヶ浜海岸においてビーチコーミングを実施した。当日は鎌倉女子大学中等部の生徒約50名が参加し、漂着物を集めてオブジェ（サンドアート）を制作した。また、ビーチコーミングに先立ち、9月21日（木）と9月28日（木）に鎌

倉女子大学中等部において、井出迫義和氏（日本気象環境機関）、坂口心菜氏（文化服装学園大学）、小島政行氏（プラスチックフリージャパン）による出前講義を実施した。

7 組織及びその他の活動

(1) 組織に関する活動

第 35 回定例総会：6 月 11 日（日）13 時～鎌倉パークホテル、106 名出席（内書面 58 名）。

理事会：毎月 1 回（第 3 日曜日）、6 月、8 月、2 月休会。

神奈川県ユネスコ連絡協議会：神奈川県内ユネスコ協会との連携を目的に、横浜ユ協、厚木ユ協、鎌倉ユ協を構成員とする。理事会及び総会に出席。

11 月 11 日（土）開催、長嶋理事長含む執行部 5 名出席。

日本ユネスコ運動全国大会：9 月 9 日（土）山梨県富士吉田市。

広瀬会長、長嶋理事長、石田理事の 3 名が参加。

祝創立 35 周年・感謝の集い：9 月 29 日（金）鎌倉パークホテル。

佐藤美智子前会長、尾花珠樹前副会長を囲む感謝の集いを開催。参加者 72 名。

募金活動

トルコ・シリア地震：5 月 19 日～21 日の 3 日間、鎌倉駅前。参加者 30 名。

モロッコ地震：10 月 30、31 日、11 月 1 日の 3 日間、鎌倉駅前。参加者 27 名。

能登半島地震：1 月 23～24 日の 2 日間、鎌倉駅前。参加者 26 名。

八ヶ岳・平山郁夫シルクロード美術館訪問：11 月 28 日（火）、

法人会員 5 名（ご招待）、個人会員 25 名参加。

新年会の開催：1 月 27 日（土）鎌倉パークホテル。63 名出席。

ホームページリニューアル：金山重之会員がホームページを更新。

(2) その他に関する活動

鎌倉市国際交流連絡会に出席し、諸団体と連携し国際交流活動を展開した。